

令和元年 8 月 2 9 日

## 笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画の修正について

笠岡市教育委員会

平成 26 年 3 月 26 日に「笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画書」を作成し、学校規模適正化を進めております。

笠岡市立小・中学校においては、今後も児童生徒数の減少に伴い、2つの学年の児童生徒を1つの学級で同時に指導する複式学級が増加することが見込まれます。複式学級編制になると、教育課程の編成や指導方法等に困難さが増すとともに、学級数によって配置される教職員数の減少に伴い（例えば、小学校では2学級になると教頭や養護教諭・事務職員が未配置となる）学校運営にも支障を来すことが増加していきます。

情報化やグローバル化といった社会的変化が、予測を超えて進展することが想定されています。子供たちが社会を力強く生き抜くためには、基礎・基本の定着と知・徳・体のバランスのとれた教育の中で、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力を育むことが重要です。学校の教育環境に一定規模の集団を確保することで、子供たちにとって、学校生活の中で多様な個性と出会い、自己形成に必要な集団活動を行うことが容易になります。学校規模の適正化に取り組む最も大きな意義は、このことにあります。

平成 27 年 8 月 24 日に笠岡市が策定した「笠岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」によって、現在学校規模適正化計画は「柔軟な対応をする期間」となっていますが、令和元年度末をもってこの期間も終了します。そこで、笠岡市小中一貫教育推進計画を策定し、10年後あるいはそれ以降の笠岡市立小・中学校の教育のあり方を構想しているこの時期に、現状・課題も踏まえて改めて笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画を修正し、公表します。

学校の統廃合については、令和4年度以降を目途に、子供たちが新しい学校に安心して通学し、充実した学校生活を送るとともに、学校と家庭、地域が連携して学校教育を推進することができるよう、その条件整備や体制整備等を図っていきます。通学距離に応じて「スクールバス」の運行も検討します。また、小中一貫教育推進計画により、令和10年度を目途に施設一体型小中一貫教育校を開設することも新たに加えました。

ただし、今後も引き続き、すべての学校の児童生徒数の推移を見ながら、基準に満たない状況が見込まれる場合は随時見直しをすることとします。

なお、小北中学校については、笠岡市・矢掛町中学校組合立の学校であるため、この計画には含まれておりません。

《笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画》

学校名	修正後	修正前
今井小学校	令和4年度を目途に笠岡小学校へ統合。	平成30年度を目途に笠岡小学校へ統合。
陶山小学校	令和5年度を目途に城見小学校へ統合。	平成30年度を目途に金浦小学校へ統合。
新山小学校	令和6年度を目途に吉田小学校へ統合。	平成30年度以降随時検討。
北川小学校	存続。	存続。
神島外小学校	存続。	連携教育推進校として存続。
島しょ部小学校（白石・北木・真鍋・六島）	存続。ただし、状況を見て随時検討は行う。	存続。
神島外中学校	存続。	連携教育推進校として存続。
白石中学校	令和4年度を目途に神島外中学校へ統合。ただし、状況を見て時期は随時検討を行う。	平成31年度を目途に神島外中学校へ統合。
北木中学校	令和5年度を目途に神島外中学校へ統合。ただし、状況を見て時期は随時検討を行う。	平成30年度を目途に神島外中学校へ統合。
真鍋中学校	令和4年度を目途に神島外中学校へ統合。ただし、状況を見て時期は随時検討を行う。	平成29年度を目途に神島外中学校へ統合。
新吉中学校	随時検討。	平成29年度以降随時検討。
大島中学校	随時検討。	平成29年度以降随時検討。
施設一体型小中一貫教育校	令和10年度を目途に開設。 ・金浦中ブロック（金浦小，城見小，金浦中） 2校目以降の開設も検討 （候補：新吉中ブロック，神島外中ブロック）。	

笠岡市立小学校学校規模の適正配置計画一覧

笠岡市教育委員会

学校名\年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
笠岡											
中央											
今井				笠岡小学校へ統合							
金浦										施設一体型小中 一貫教育校開設	
城見											
陶山				城見小学校へ統合							
大井											
吉田											
新山					吉田小学校へ統合						
北川	存続										
大島											
神内											
神島外	存続										
白石	休校中(状況を見て廃校について検討・実施)										
北木	存続(状況を見て休校, 廃校について検討・実施)										
真鍋	存続(状況を見て休校, 廃校について検討・実施)										
六島	存続(状況を見て休校, 廃校について検討・実施)										

※ 施設一体型小中一貫教育校の2校目以降については、新吉中ブロック、神島外中ブロックを候補として検討していきます。

笠岡市立中学校学校規模の適正配置計画一覧

笠岡市教育委員会

学校名\年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
笠岡東											
笠岡西											
金浦										施設一貫教育校開設	
新吉	随時検討										
大島	随時検討										
神島外	存続										
白石	状況を見て、休校、廃校時期を早める検討も行う。			神島外中学校へ統合							
北木	状況を見て、休校、廃校時期を早める検討も行う。				神島外中学校へ統合						
真鍋	状況を見て、休校、廃校時期を早める検討も行う。			神島外中学校へ統合							

※ 施設一貫型小中一貫教育校の2校目以降については、新吉中ブロック、神島外中ブロックを候補として検討していきます。